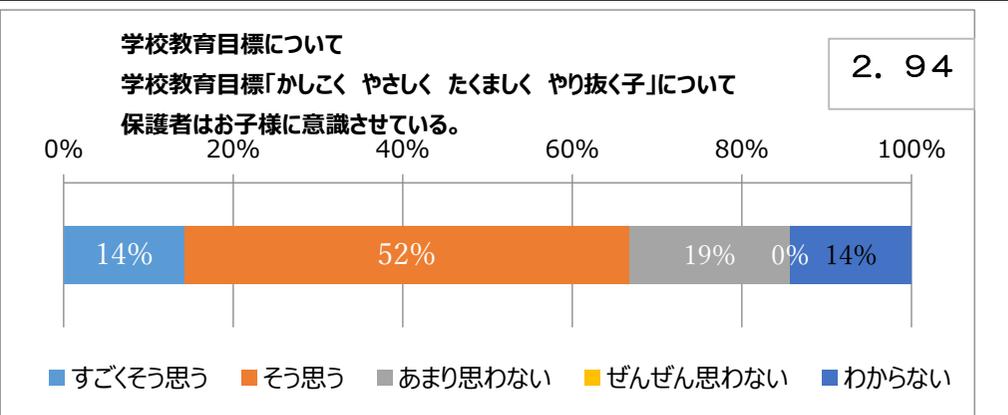
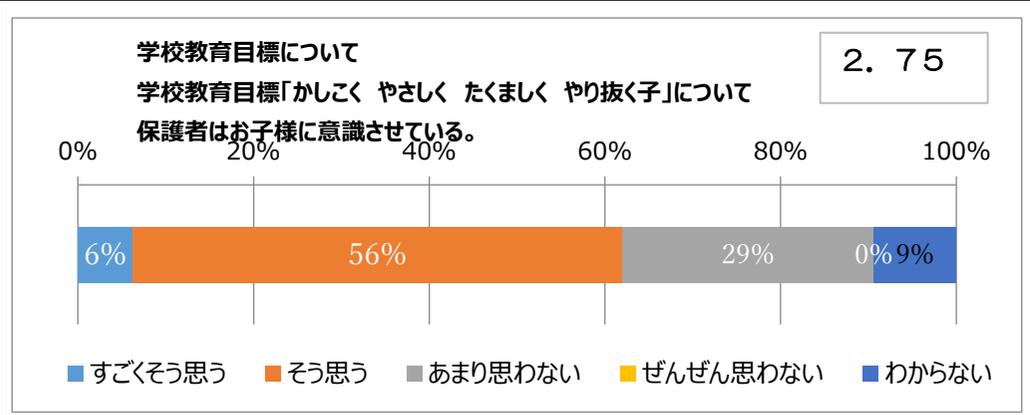
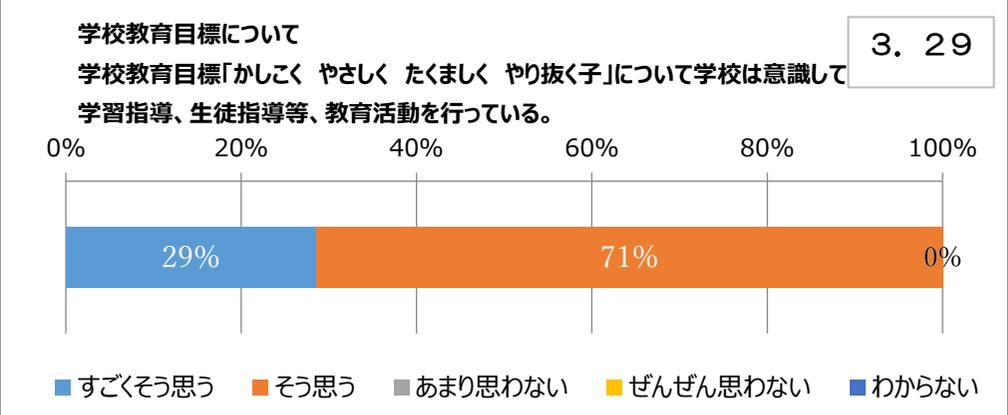
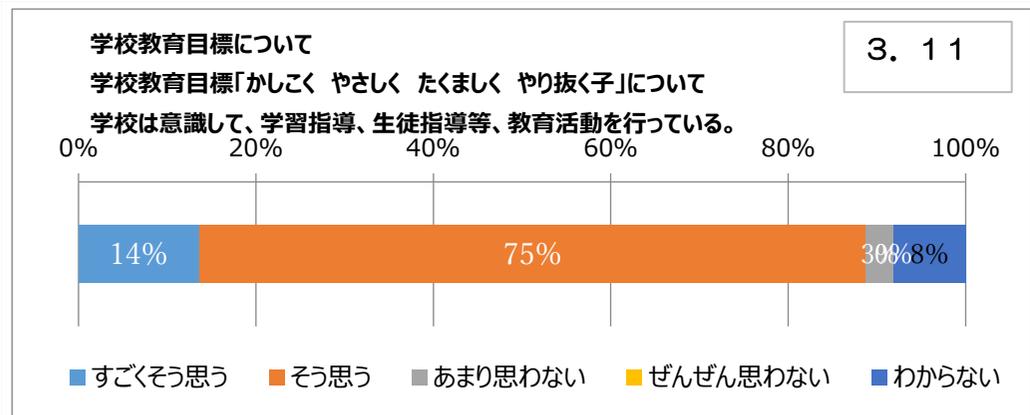
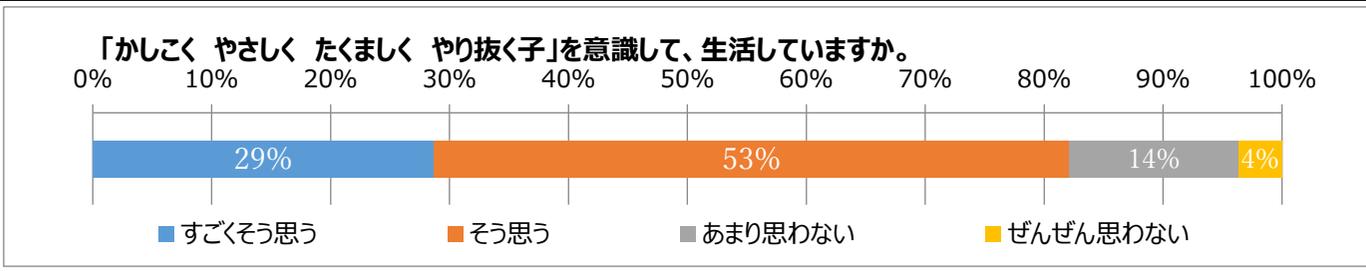


保護者

教職員 ※保護者の「お子様」項目を「児童は」に置き換えて回答



児童



学校教育目標については、教職員や子供たちもすぐに言える状況になっており、意識化は進んでいます。肯定的評価が89%と昨年同時期の80%と比べても伸びがあり、目標を共有した学校経営が進みつつあると考えます。一方、保護者が自分の子供に意識させているかについては、62%となり家庭生活においても目標として取り組める状況までには方法等を検討していきます。

10%弱ですが、わからないと回答する保護者の真意を把握したいと考えています。

児童については肯定的評価が82%となっており、多くの児童が学校教育目標を意識して生活していることがわかります。日々の学習の中で意識した活動が行われている成果だと感じます。全校朝会で学校教育目標を児童に聞いた際、多くの児童が答えられていたことも印象的です。

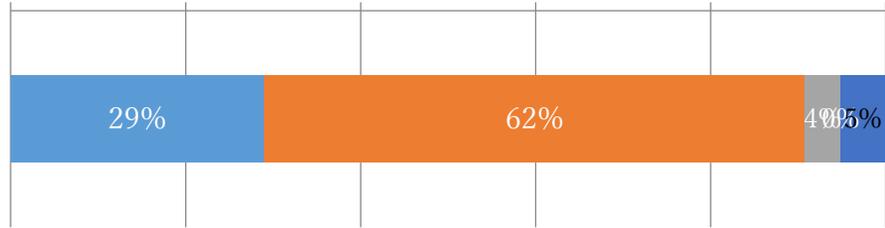
学習に関わる内容

・新しい環境を活かす

授業参観やお子様のお話から、学校は学校図書館やラーニングコモンズ、3面ホワイトボード等を活用した実践を心掛けていると思う。(互いに関わり、教えあう、説明・表現する姿が学習中に現れるよう心掛けている。)

3. 26

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すごく思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

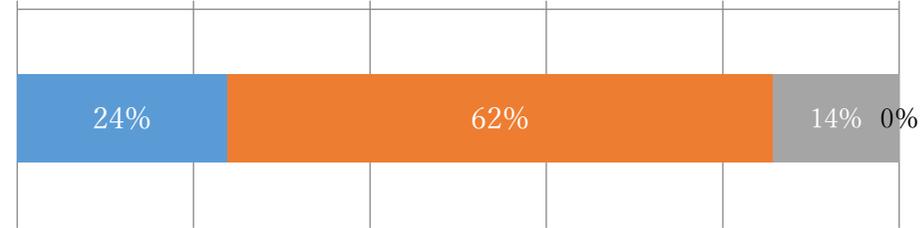
学習に関わる内容

・新しい環境を活かす

授業参観やお子様のお話から、学校は学校図書館やラーニングコモンズ、3面ホワイトボード等を活用した実践を心掛けていると思う。(互いに関わり、教えあう、説明・表現する姿が学習中に現れるよう心掛けている。)

3. 10

0% 20% 40% 60% 80% 100%



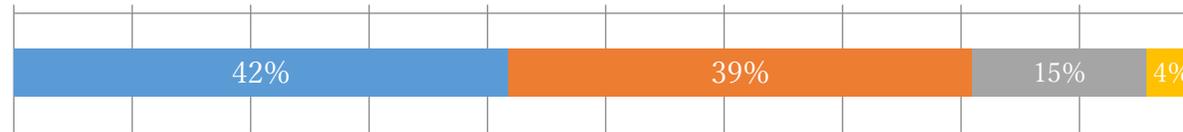
■ すごく思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

3面ホワイトボードやラーニングコモンズ、図書館を使って、授業や話し合い活動をしていますか。

3. 18

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ すごく思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない

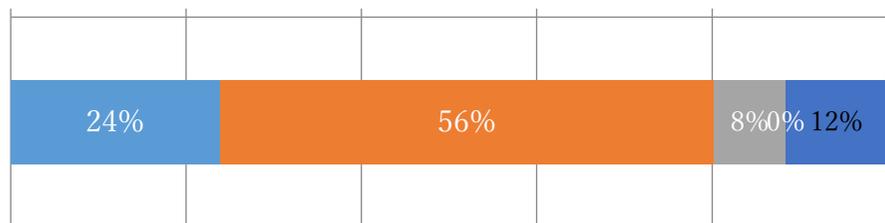
学習に関わる内容

3.18

・新しい環境を活かす

授業参観やお子様のお話や様子から、子どもの問いを大切に学習計画を工夫し、進んで課題解決をしたり調べたりする子どもの育成が図られていると思う。(自己選択、自己決定しながら探究的な学習を行っている)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

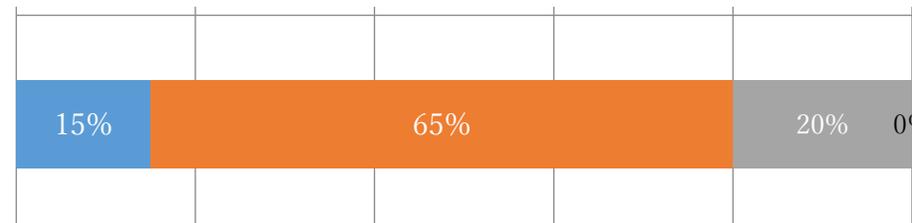
学習に関わる内容

2.95

・新しい環境を活かす

授業参観やお子様のお話や様子から、子どもの問いを大切に学習計画を工夫し、進んで課題解決をしたり調べたりする子どもの育成が図られていると思う。(自己選択、自己決定しながら探究的な学習を行っている)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

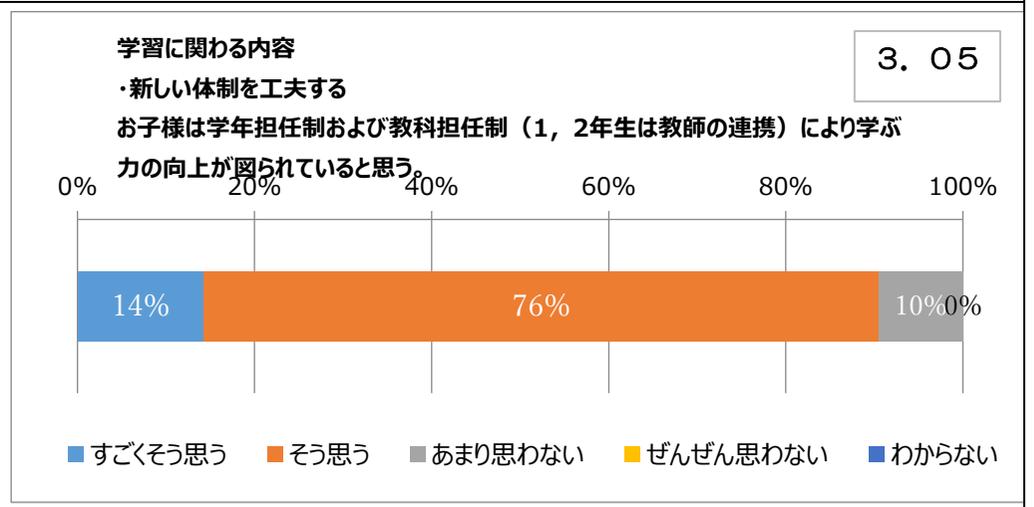
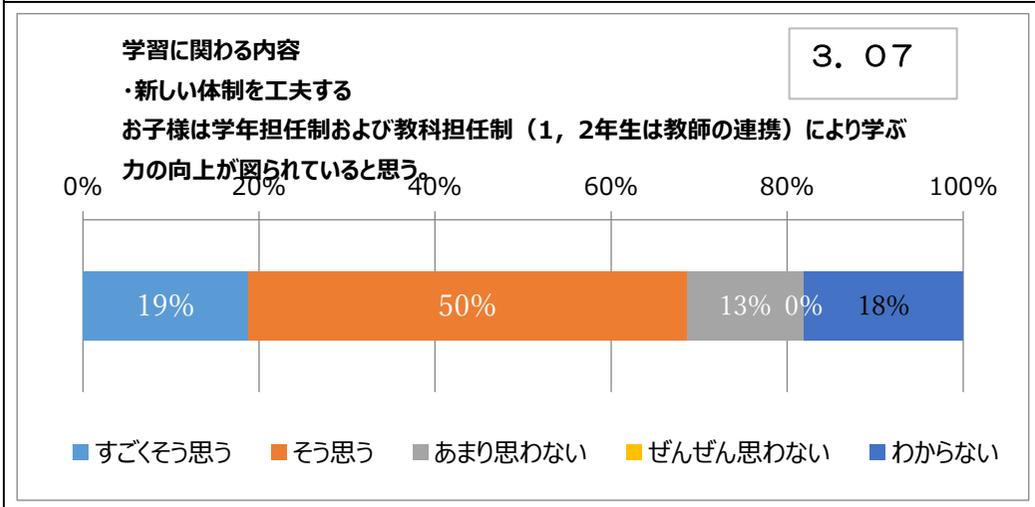
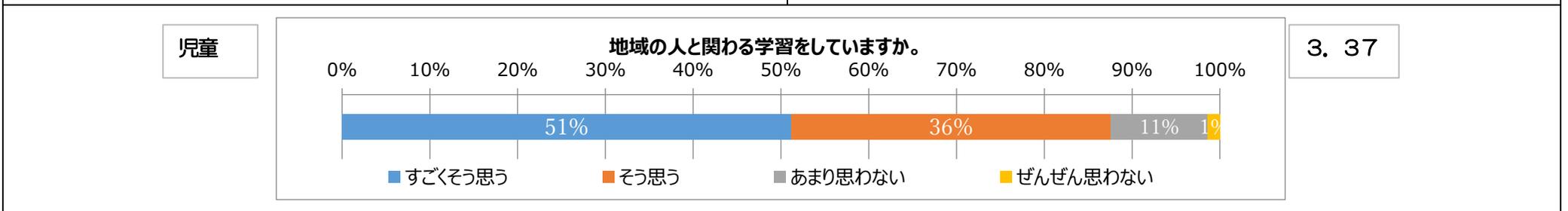
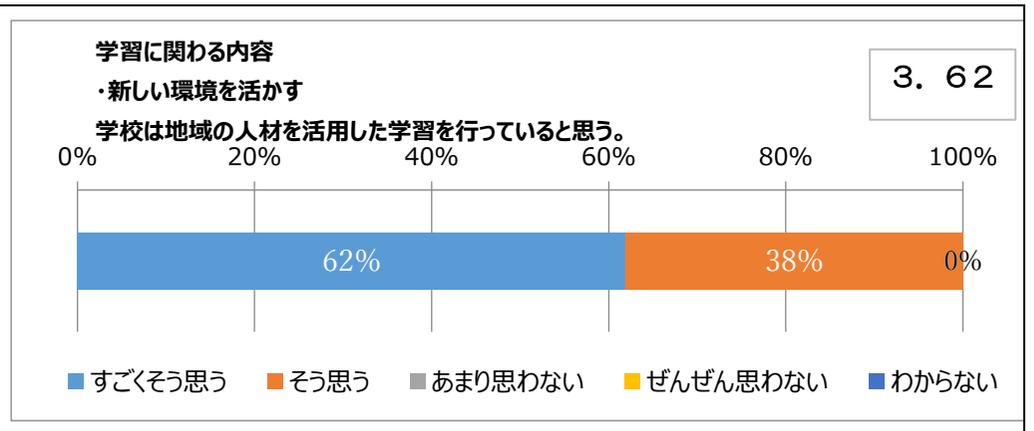
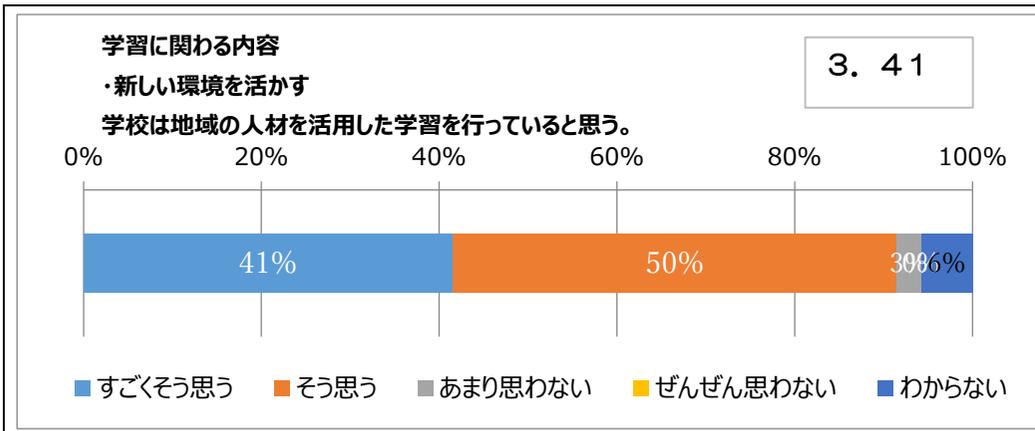
問いをもって、自分で決めて調べたり解決したりする学習をしていますか。

3.14

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



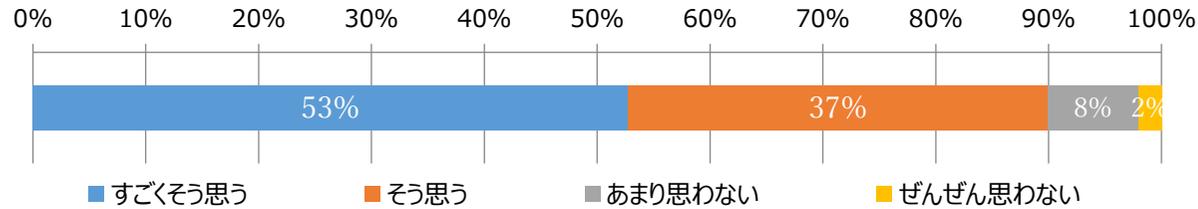
■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない



児童

多くの先生が関わることで学ぶことは役立っていますか

3. 41

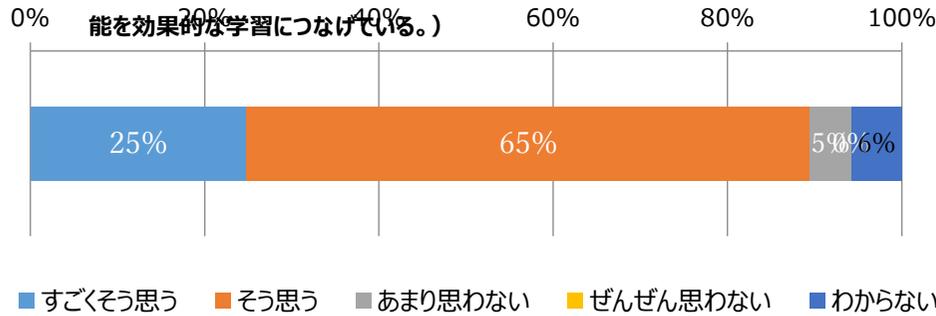


学習に関わる内容

・新しい体制を工夫する

3. 21

学校は教科担任制・外部人材・校外学習・出前授業等を活かした教育活動を実践していると思う。(専科による授業・校外学習先での指導・専門的な知識・技能を効果的な学習につなげている。)

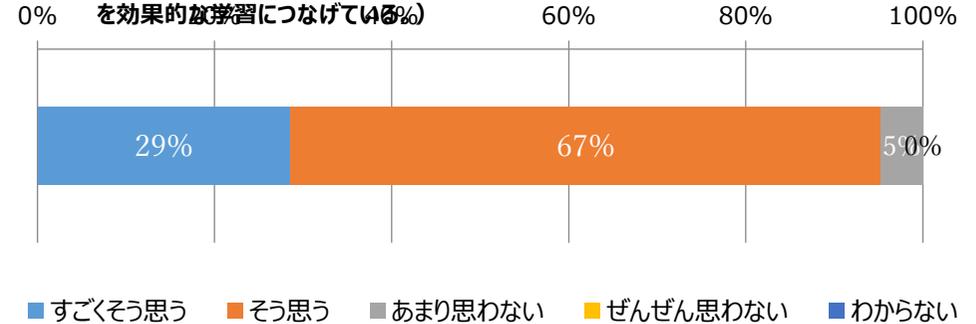


学習に関わる内容

・新しい体制を工夫する

3. 24

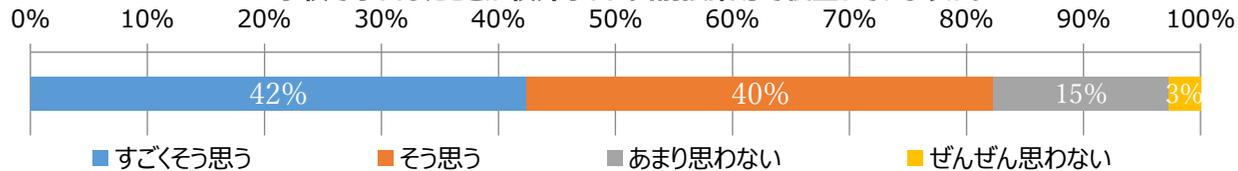
学校は教科担任制・外部人材・校外学習・出前授業等を活かした教育活動を実践していると思う。(専科による授業・校外学習先での指導・専門的な知識・技能を効果的な学習につなげている。)



児童

学校で学習したことが校外学習・出前授業等で役立っていますか。

3. 22



学習空間として図書館・ラーニングコモンズ・ホワイトボードの活用は、91%と認知されています。また、問いを大切にしたり学習や課題解決型の学習についても80%と、今年学習に関して実施している改善については認知されています。学習に対する外部人材の関わりを進め、全学年において学年担任制を取り入れていることの認知は90%と高いです。しかし、学年担任制が学ぶ力の向上に結びついていると考えるのは7割弱に留まり、思わないが13%です。今後は、結果の示し方については十分に検討し、公表していきます。

これからの答えが一つではなく先がわからない時代においては、子供たちは自分で問いをみつけ、周りと一緒に解決していくことが重要であるといわれています。そのような力を発揮し、教育環境はとても重要であるといわれています。児童は、その学習を支える、学習環境である3面ホワイトボードの活用や図書館を協働的な学習で活用している割合が81%、問

いをもって学習をする児童が81%という状況は、これからの時代を生きる子供に意識化されている結果だと考えます。特に、多くの先生が関わることで学ぶことは役立っているかという項目において、肯定的な意見が90%になっていることは、教科担任制や学年担任制の成果であると考えます。

学習に関わる内容

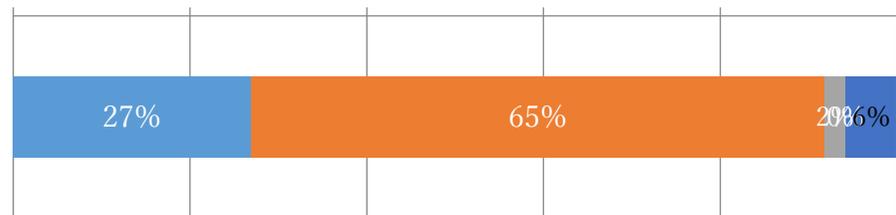
・新しい教育課程を創る

総合的な学習の時間（または生活科）が地域と共有した学習内容となっている。

（校外学習なども含めて地域を知る）

3. 26

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

学習に関わる内容

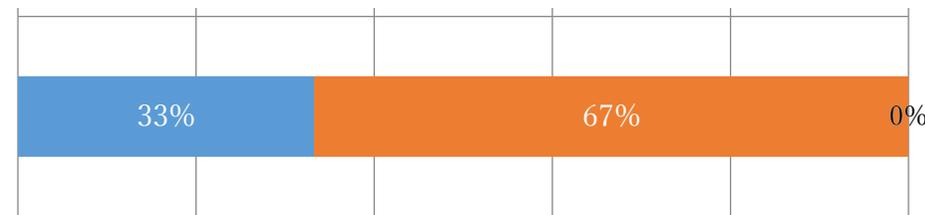
・新しい教育課程を創る

総合的な学習の時間（または生活科）が地域と共有した学習内容となっている。

（校外学習なども含めて地域を知る）

3. 33

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

総合的な学習の時間は、土小の地域のことについて学習していますか。

3. 40

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



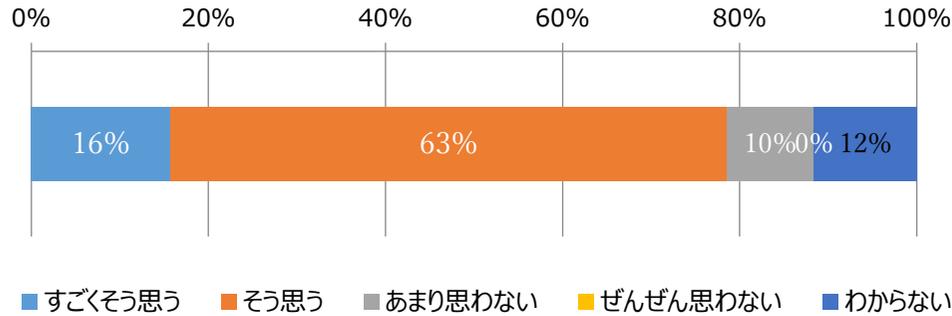
■ すごくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない

学習に関わる内容

・新しい教育課程を創る

子どもたちは総合的な学習の時間（または生活科）を通して実生活や実社会で生きて働く力をつけていると思う。（※つけていく可能性がある）

3.07

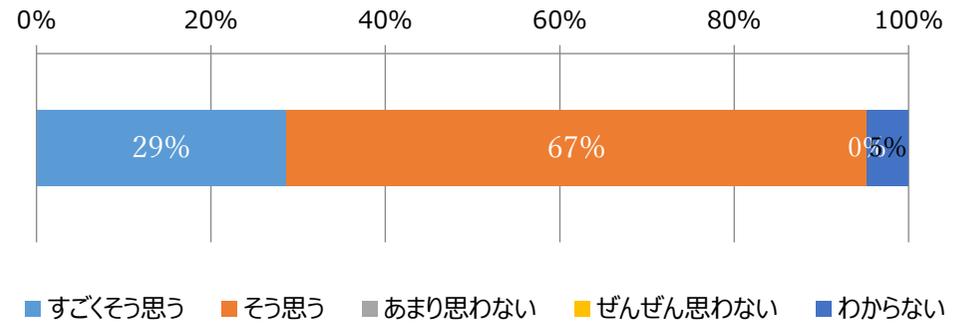


学習に関わる内容

・新しい教育課程を創る

子どもたちは総合的な学習の時間（または生活科）を通して実生活や実社会で生きて働く力をつけていると思う。（※つけていく可能性がある）

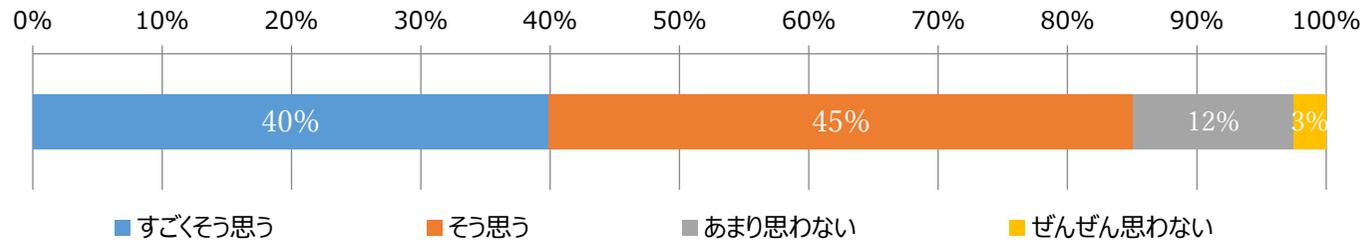
3.30



児童

総合的な学習の時間で学んだことは実生活や実社会で役立つと思いますか。

3.22



土地域を教材とした取り組みは昨年度から実施しており、6月に教育ミニ集会を開催したこともあり、90%以上の認知を得ています。その活動が、実生活で役立つ学びになっているかについては79%と、学習内容と目指す力、子供たちの活動の見える化を図っていく必要があります。

土地域を題材とした生活科・総合的な学習の時間は、昨年度から実施しており、多くの児童にとって認知された結果となりました。また、生活科・総合的な学習の時間が実生活や実社会で役立つと感じている児童が85%と、学習の成果を肌で感じていることがこの結果からもわかります。

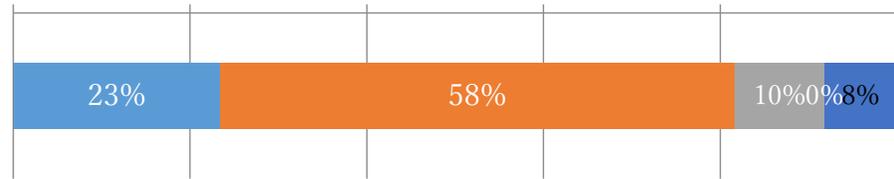
生活に関わる内容

・新しい環境を活かす

学校は各種行事を活かし、同学年や異学年集団のかかわりを増やしていると思う。

3. 14

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すぐくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

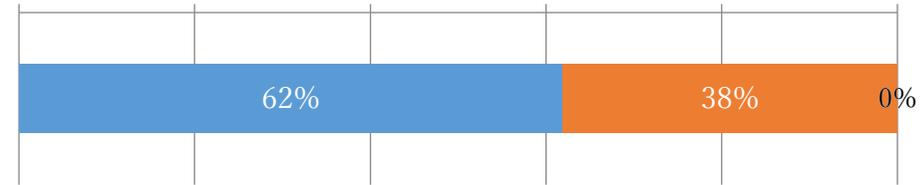
生活に関わる内容

・新しい環境を活かす

学校は各種行事を活かし、同学年や異学年集団のかかわりを増やしていると思う。

3. 62

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すぐくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

行事などでは同学年やほかの学年とのかかわりが多いですか。

3. 27

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すぐくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない

生活に関わる内容

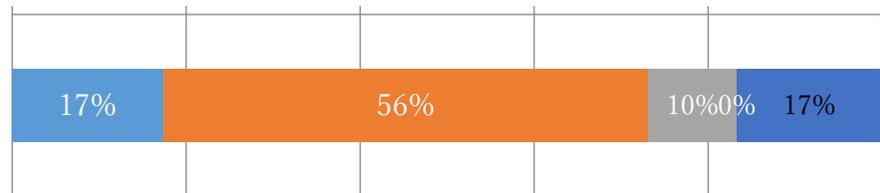
・新しい体制を工夫する

学年担任制および教科担任制（1, 2年生は教師の連携）により児童の多面的

な理解や支援ができていると思う。（※できる可能性がある）

3. 09

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すぐくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

生活に関わる内容

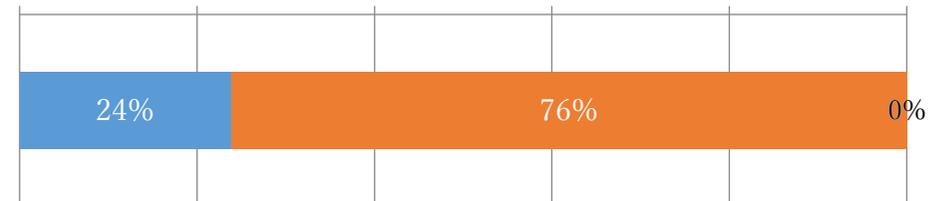
・新しい体制を工夫する

学年担任制および教科担任制（1, 2年生は教師の連携）により児童の多面的

な理解や支援ができていると思う。（※できる可能性がある）

3. 24

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ すぐくそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

先生たちは自分のことをわかってきていますか。

3. 24

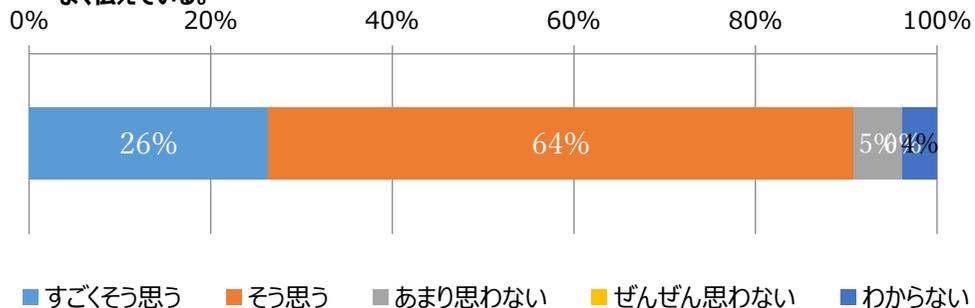


生活に関わる内容

3. 22

・新しい体制を工夫する

学校だよりや学年だより、校長室だより、LINE、HP等で教育方針や児童の様子をよく伝えている。

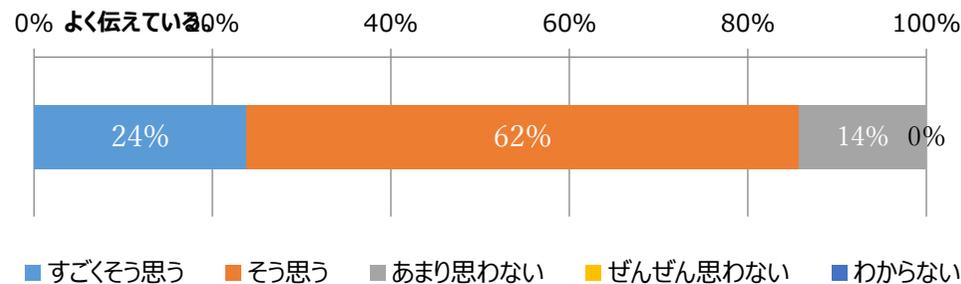


生活に関わる内容

3. 10

・新しい体制を工夫する

学校だよりや学年だより、校長室だより、LINE、HP等で教育方針や児童の様子をよく伝えている。

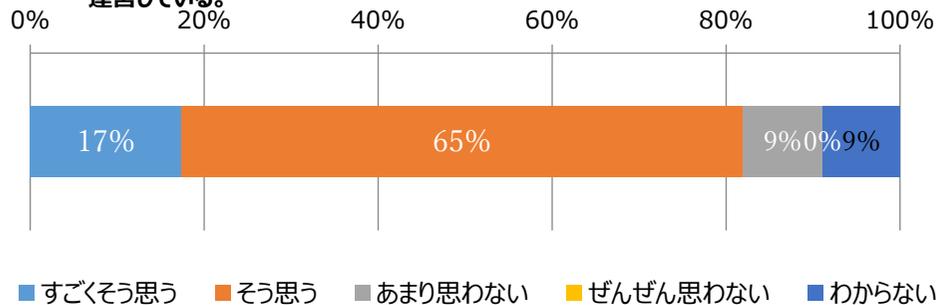


生活に関わる内容

3. 09

・新しい教育課程を創る

学校は児童・保護者・学校が目標を共有できるように意識して教育活動を企画・運営している。

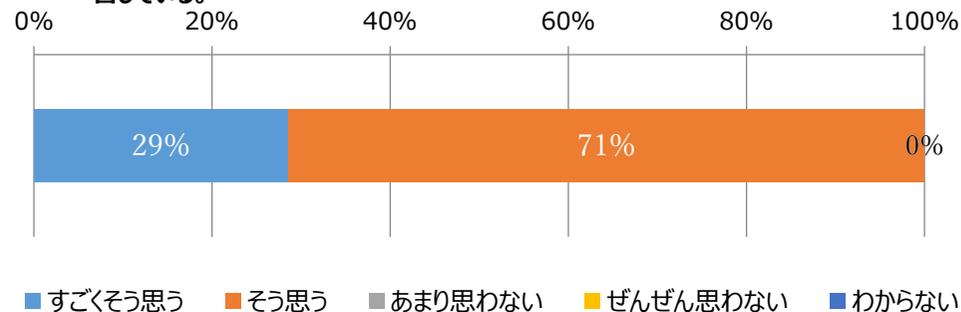


生活に関わる内容

3. 29

・新しい教育課程を創る

学校は児童・保護者・学校が目標を共有できるように意識して教育活動を企画・運営している。

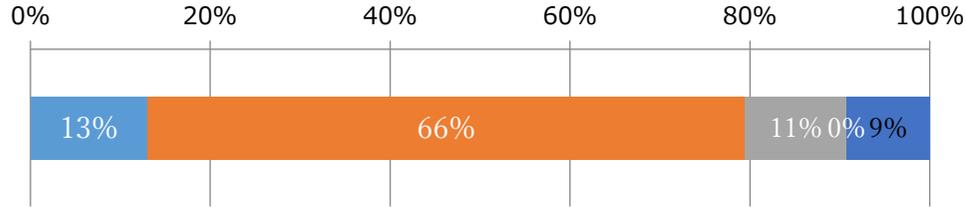


生活に関わる内容

・新しい教育課程を創る

3.02

お子さまは、生活習慣を身に付け共感的人間関係が築けるようになってきている。



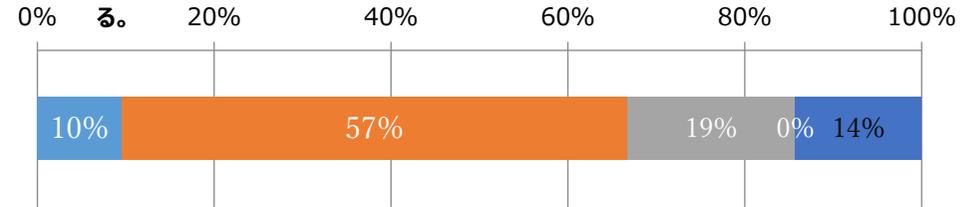
■ すぐそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

生活に関わる内容

・新しい教育課程を創る

2.89

お子さまは、生活習慣を身に付け共感的人間関係が築けるようになってきてい

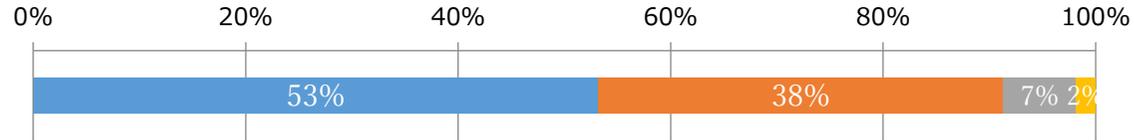


■ すぐそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

児童

学校生活では友達と協力して取り組んでいますか。

3.43



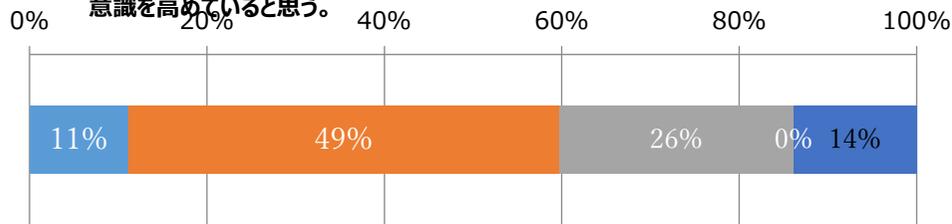
■ すぐそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない

生活に関わる内容

・新しい教育課程を創る

2.82

お子さまはキャリアパスポート等を活用しながら、自己の生き方、キャリアに関する意識を高めていると思う。



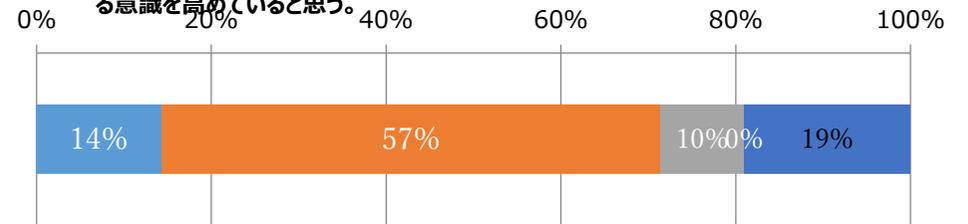
■ すぐそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

生活に関わる内容

・新しい教育課程を創る

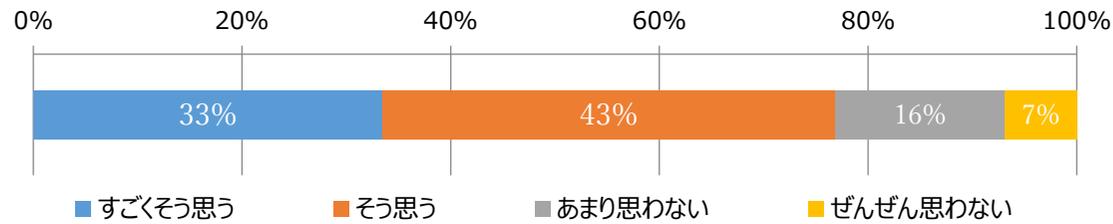
3.06

お子さまはキャリアパスポート等を活用しながら、自己の生き方、キャリアに関する意識を高めていると思う。



■ すぐそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ ぜんぜん思わない ■ わからない

キャリアパスポートなどを活用して、自分の生き方や将来について考えられていますか。



今年度は土っ子学級での活動を増やし、休み時間以外にも清掃活動等を組んでいるが、大切にしているという回答が81%に留まっています。保護者や地域に対しての広報活動も必要だと考えます。また、学年担任制が子供理解に役立つかの問いに対しては、学習面より高いが73%に留まり、今後の結果をどう示すか検討していきます。

児童は、どの項目も肯定的な意見が8割を超える結果となり、土小が実施している学年担任制・縦割り活動・キャリアパスポートなどの活動を多くの児童が肯定的にとらえていることがわかります。特に、友達とのかかわり、将来とのつながりはこれからの時代を生きる児童にとって重要な項目です。今後も横とつながりと児童の未来とのつながりを意識した教育活動を実施していきます。

情報発信については、重点的な取り組みとして実施しており、90%の支持を得ていますが、思わない5%、わからない5%についての意識を探ることと同時に、よりよい環境整備に努めていきます。教育目標と教育活動の企画運営の連携については82%の認知(昨年同時期 75%)であり、教育目標を意識した教育活動に関する89%と比べると低いです。企画段階での説明等を各行事で説明をしたり、学年だよりをその説明に利用したりすることを検討しています。